

放課後等デイサービスつぐみ		
5 領 域	健康・生活	健康観察を行う際には表情や普段と違う様子はないかなど、ひとりひとりの状態を把握し、健康管理に努めます。 時間や空間を視覚的に区切り、見通しの持ちやすい、安心できる環境設定を行います。 日常生活に必要な知識や技術を、実際の生活場面に即しながら繰り返し経験して定着につなげていきます。（食事、掃除、整容、排泄等）
	運動・感覚	遊びを通して様々な感覚刺激を取り入れ、感覚統合機能の発達を促し、情緒面の安定につなげていきます。 広い場所で思いきり体を動かしたり、創作活動で微細に手な動かすなど、粗大運動と微細運動を組み合わせたプログラムを提供します。
	認知・行動	自立課題を行うことを通して、必要な情報を収集して認知の発達を促し、数や大きさ、色など、様々な概念の理解や適切な行動の取得を目指します。 スケジュール、課題、作業の手順などを視覚的にわかりやすく提示し、見通しをもって行動できるように環境を整えます。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防や、適切な行動が出来るよう支援を行います。
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちや思いを表現できる練習をします。 個々に応じて、言語だけでなく絵カードや写真などを用いて伝えたり、意思をくみ取れる環境を整えます。
	人間関係 社会性	基本のあいさつやお礼の習慣化を目指し、集団行動の参加など他者との関わりに必要な力の習得を支援します。 ソーシャルストーリーや視覚的な手がかりを使って、自分や他人の感情について学びます。 地域の商店での買い物体験やお出かけ、就労事業所での就労体験などを通して、社会生活でのルールやマナーに関する知識を学びます。